

国語科学習指導本時案

授業者 湯浅 明菜

日時：平成30年10月27日（土）第2校時（10:25～11:10）

対象：第5学年A組 30人（男子15人，女子15人）

場所：5年A組教室

本時の主張点	雪げたをかかえたまま飛び出していったマサエの心情について読みの交流をすることで、マサエの考えの変容について、物語全体から読み取ろうとする。
--------	---

1. 本時について ～単元とかかわって～

本時では、3場面でマサエがどのように変容したのか、マサエはおばあちゃんの話す「神様」についてどのように受け止めたのかについて考える。物語全体から読み取ろうとする姿につなげたい。1場面では、わらぐつのことを「やだあ、わらぐつなんて、みったぐない」と言っており、マサエのわらぐつに対する見方がはっきり書かれているが、3場面にはマサエがわらぐつのことをどのように思っているかという叙述がない。わらぐつの代わりに雪げたが登場し、マサエは「この雪げたの中にも神様がいるかもしれない」と語り、おじいちゃんが帰ってきたときには、雪げたを抱えたまま玄関に飛び出していく。そこから、「一生懸命心を込めて作ったものには神様が宿る」というおばあちゃんの話を受け止めたことが伝わってくるということを考えさせたい。

なお、本時までの流れは次のようである。

第1次では、「わらぐつの中の神様」の範読を聞き、作品世界へ導入する。作者について知ったり、杉みき子さんの他作品についても触れたりする。また、題名についても考え、自分たちの思っている「神様」と作品に出てくる「神様」とを比較する目ももてるようにしたい。杉みき子作品を読み、感想をもち、単元の見通しをもって学習に臨む。

第2次では、「わらぐつの中の神様」の作品としての魅力について話し合う。話し合うテーマは、「おばあちゃんとマサエのわらぐつに対する考え方」「おみつさんと大工さんの交流」「雪げたをかかえたままおじいちゃんを出迎えに走って行ったマサエ」についてを想定している。これらのテーマは、子どもたちの書いた初発の感想をもとに設定する。授業者の想定したテーマと子どもたちの感想とが大きく異なっていた際には、テーマを変更する事も考えている。しかし、いずれにしても、現在一過去一現在の構造が作品にもたらす効果や「使う人のことを考えて作られたものには神様が宿る」ということについて考えられるように授業を展開する。自分の読みと友だちの読みについて考え、作品についてどう思うか、自分の感想を1冊に綴ってまとめることができるようにする。

そして第3次では、第2次で読んできた力を生かし、「わらぐつの中の神様」を中心とした杉みき子作品についての自分の思いや考えについて話し合う「読書会」を、3、4人グループで行う。

2. 本時における探究的な学びと省察性の働き

本時では、3場面でのマサエについて考えることで、1場面からの変容の様子を読み取ることにつなげたい。マサエが、2場面で語られるおみつさんと大工さんの話を聞くことで、どのように変容し

たのかを考える。また、3場面には、マサエがわらぐつのことをどのように思っているのか直接には触れられていない。しかし、おばあちゃんに話の続きを進んで聞いている様子や「雪げたの中にも神様がいるかもしれないね」という言葉、雪げたを持ったまま玄関におじいちゃんを迎えに行く姿から、「わらぐつの中に神様がいる」「一生懸命心をこめて作ったものには神様が宿る」と考えるようになっていると読み取ることができる。仲間と話し合うことでそのようなことに気づくことができるようにしたい。

3. 探究的な学びを支える授業のしかけ

本時の終末には、マサエがおばあちゃんの話聞いて受け止めた「わらぐつの中の神様」とはどのようなものだったのかを書く。授業で互いの意見を交換し、自分の考えを確かめ、文章に書き表す。自分の変容を自分で認識できるよう、本時まで同様、学習記録をつけて綴る。そうすることで、自分が学んだことへの実感を味わわせたい。

4. 育みたい資質・能力

探究力	省察性
<ul style="list-style-type: none"> 作品の面白さについて考え、話し合おうとする。(読書への意欲、対話力) 作者による仕掛けが物語に生み出す効果を考えようとする。(読解力) 	<ul style="list-style-type: none"> 作品について自分の思いや考えを書き、冊子にまとめる。(読書意欲・対話力を支える省察性) 作品の表現やテーマについて、自身の読みを捉えて書く。(読解力を支える省察性)

5. 本時の目標

わらぐつを抱えたまま玄関へと飛び出していったマサエの心情について叙述をもとに読み、マサエの変容について、自分の考えを書いたり話したりする。

6. 本時の展開

学習活動と予想される子どもの反応	留意点・評価
<p>1. 今日のめあてを確認し、3の場面を音読する。</p> <p><u>おばあちゃんの話聞いて、マサエはどう思っているかな。</u></p> <p>2. グループで話し合う。</p> <p>3. 全体で話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> まさか、マサエがおばあちゃんだったなんて。・大工さんはおみつさんのために一生懸命働いて雪げたを買ってあげたから、この雪げたにもきっと神様がいる。 マサエはおばあちゃんの話(わらぐつの中に神様がいます)を信じている。 <u>3場面ではわらぐつのことを何も言っていないけど、マサエの心、わらぐつの見方は変わったと思う。</u> <p>4. 振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> マサエが1の場面と比べて変わっているかを考えながら読むことを意識させる。 3の場面では、マサエがわらぐつについてどのように思っているかという叙述がないことに目を向けた上で、マサエがおばあちゃんの話をもとに受け止めたのかということや、マサエの変容やについて考えられるようにする。 <p><u>思</u>登場人物の心情、変容について、描写を基に捉え、表現の効果について考えている。(C読エ)</p>